

天文グループの活動報告

若宮 崇令* 渡辺 真由子**

1 はじめに

茅野市八ヶ岳総合博物館の市民研究員天文グループは、第2期の市民研究員養成講座発足に当たり2016年度に開設された天文分野の参加者である。3年を区切りにするこの講座なので2018年度末に一度区切りを迎え、参加者には市民研究員「天文」の認定証が授与された。天文グループ養成講座は第3期にも継続されたので、今年度は継続して参加している市民には通算4年目の活動になる。第2期は17名の参加登録者で活動し、途中参加者も加え最終的には20名になった。第3期にはほとんどの人が継続して参加登録したが第2期だけで終了した人もいたが、新たな参加者を加え今年度は19名のメンバーで活動した。とは言えいろいろ忙しい市民の方たちである。なかなか全員揃った活動はできなかった。活動内容は第2期を踏襲した。即ち①例会・学習会、②天体観望会、③モバイルプラネタリウムの公開、④天文資料の収集、⑤その他である。

2 今年度の活動の記録

① 例会・学習会は毎月1回日曜日の18時から博物館で開催した。内容はグループ員が天文知識の共有を図れるようにと、博物館担当者によるレクチャーと、課題に対して調べてくる担当者を決め、その担当者がレポートするというゼミナール形式の勉強会にした。また、この例会・学習会を通して全体進捗の足並みをそろえるようにした。今年度のレポート内容は次のとおりである。

- ・ 望遠鏡でみると大きく見える仕組み
- ・ 三日月の沈む位置と傾き具合
- ・ ハビタブルゾーンとは
- ・ ペルセウス座流星群について
- ・ 天の川銀河について
- ・ 星雲・星団について
- ・ ベツレヘムの星について
- ・ 新星について
- ・ 潮汐にメカニズムについて
- ・ 太陽活動周期と地球への影響について

天体観望会には3種類ある。1番目は毎月1回茅野市八ヶ岳総合博物館が北部生涯学習センター（北部中学）に設置されている大型天体望遠鏡を使用して開催している「星空観望会」にスタッフとして参加することである。これを通して天体望遠鏡の扱い方や天体についての理解を深めた。この観望会は曇天雨天で星空が臨めないときは中止になった。2番目はこの大型天体望遠鏡を使用した「昼の星を見る会」である。青空の中に昼間の星は沈んでいて肉眼では見えないが、天体望遠鏡で見ると青空の中にキラリと光る星を見ることができる。普段見ることのできない昼間の星

を見るという、非日常的な体験をするイベントであるが、曇天雨天では実施できないので中止にした。3番目は博物館を会場にした「特別観望会」の開催である。これははじめに室内で星空についてレクチャーをし、その後館外に出て星座探訪と天体望遠鏡で天体観望をするというものである。このイベントは曇天雨天で星が見えないときは中止にせず、室内で天文宇宙の話をした。次の表は今年度実施した各種観望会の一覧である。

月	星空観望会	特別観望会	昼の星を見る会
4	13 (土)		
5	11 (土)	4 (土)	
6	8 (土)		
7	6 (土)	27 (土)	
8	3 (土)		
9	7 (土)	28 (土)	
10	5 (土)		13 (日)
11	2 (土)	30 (土)	10 (日)
12	21 (土)		8 (日)
1	25 (土)		12 (日)
2	29 (土) *		9 (日)
3	28 (土) *	22 (土) *	8 (日) *

(*は新型コロナウイルス感染予防のため中止)

モバイルプラネタリウムの公開は、グループのメンバーが制作した番組をメンバーが投影解説するもので、サイエンスフェスタ、エコフェスタのイベント会場へ出向いての投影公開、博物館が年度末に行う活動展のイベントデーでの投影公開、計3回実施した。サイエンスフェスタ、エコフェスタでは手分けして6回の公開投影、イベントデーでは4回公開した。

- ・ 9月15日(日)サイエンスフェスタ(茅野市民館)6回投影
- ・ 10月26日(土)エコフェスタ(茅野市民館)6回投影
- ・ 3月22日(日)イベントデー(博物館)4回投影(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

② 天文資料の収集は、グループとしては天体写真をわずかだが収集できた。

③ その他の活動は、博物館が小学校や公民館などから依頼されて実施している「出張星空観望会」に都合のつくものが天体望遠鏡を持ち込み観望の補助を行った。

3 今後の活動

天文グループとしては発足から4年が経過した。参加者は大別すると、もともと天体に興味があり天体観測を続けてきている所謂ベテランの人、天体や宇宙に興味があったのでこれを機会に勉強してみようという初心者がいる。

*天文グループ研究員 **茅野市八ヶ岳総合博物館

活動は和気あいあいしたもので、自然にベテランは初心者をサポートしその力を引き出し高めている。おかげで全体のレベルは次第に上がってきている。お互いに学習を深めながら博物館の活動に貢献していくという活動内容を来年度も引き継ぎ、さらなるレベルアップとパワーアップを図っていききたい。天文グループという市民グループが、学び実践して蓄えた力を観望会やプラネタリウム公開等を通して、他の市民に還元していく。その活動に一層やりがいや生きがいを感じられるようにしていきたい。そしてグループのさらなる飛躍へとつなげていきたい。

4 天文グループ参加者

浅井 弘朗	朝倉 昇	岩波 和久
岩波 佑奈	牛山 好友	大西 拓一郎
岡野 佐智子	栗山 究	田名網 修
田村 和巳	東城 幹雄	野崎 順子
馬場 春美	浜口 正彦	藤澤 弥聡
榎原 圭司	榎原 妙子	両角 英晴
吉江 利彦	渡邊 直子	

5 活動の様子



定例学習会



星空観望会



特別観望会（室内）



特別観望会（室外）



昼の星を見る会



プラネタリウム公開